

18 早期乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検実施割合

意義

センチネルリンパ節生検により転移のある腋窩リンパ節廓清を確実に行い、不必要的腋窩リンパ節廓清および、これに伴うリンパ浮腫発生を減らす。

指標の定義・算出方法

- 必要データセット:DPC様式1、E/Fファイル
- 分子：分母のうち、センチネルリンパ節生検が実施された症例数
- 分母：T1-2,N0M0の乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数
- 分子÷分母 (単位:パーセント)

分母の定義

- 解析期間に退院した症例を対象とする
- このうち、様式1の生年月日、入院日より入院時年齢を求めた18歳以上の症例。
- このうち、乳房の悪性新生物(乳がん)の診断を受けた症例。

いずれかの病名のICD-10コードとして以下のいずれかが含まれる症例

ICD-10 コード	病名
C50\$	乳房の悪性新生物

かつ、以下の2条件を満たす症例。

- 1 様式1「がんの初発、再発」が「初発」 かつ
- 2 「UICC病期分類(T),(N),(M)」がT1\$ (3桁以降はワイルドカード、T1a等を含む) またはT2、かつN0、かつM0
- IV. このうち、下記手術を受けた症例。

以下の手技のいずれかが算定されている症例(レセ電コードで抽出)

レセ電コード (診療行為コード)	手術点数コード	手術名
150121610	K4761	乳房悪性腫瘍手術 (単純乳房切除術) (乳腺全摘術)
150303110	K4762	乳房悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴わない)
150316510	K4763	乳房悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩部郭清を伴わない)
150262710	K4764	乳房悪性腫瘍手術 (乳房部分切除術) (腋窩部郭清を伴う)
150121710	K4765	乳房悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施しないもの)
150121810	K4766	乳房悪性腫瘍手術 (乳房切除術) (腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの) (胸筋切除を併施するもの)
150121910	K4767	乳房悪性腫瘍手術 (拡大乳房切除術)
150122150	K4767	乳房悪性腫瘍手術と両側腋窩リンパ節郭清術

分子の定義

- センチネルリンパ節生検を受けた症例

以下の手技のいずれかが算定されている症例(レセ電コードで抽出)

レセ電コード (診療行為コード)	手術点数コード	手術名
150345870	K4768	乳がんセンチネルリンパ節加算1
150345970	K4769	乳がんセンチネルリンパ節加算2
160188010	D409-21	センチネルリンパ節生検 (併用法)
160188110	D409-22	センチネルリンパ節生検 (単独法)

測定上の限界・解釈上の注意

- 他の施設と指標値が大きく異なる場合は、診療行為の見直しのきっかけとなる。
- 「UICC病期分類」は治療前に得られた臨床情報も含む情報に基づく分類(cTNM)であり、pTNM(術後病理所見による),sTNM(手術所見による)と異なる場合があり、本来ならセンチネルリンパ節生検の適応にならない症例も含まれる可能性がある。
- センチネルリンパ節生検は外来日帰りでも行えるため、手術前に外来で施行されている場合や他院で施行され、紹介入院となっている場合もある。結果が低値だったとしても解釈に注意が必要である。

考察

最小値0.00% 25%値0.00% 中央値70.37% 75%値86.67% 最大値100%

センチネルリンパ節生検は、施設基準の届出のうえ実施されるものであり、病理診断体制の有無で大きく左右されます。体制のある病院では、確実に、センチネルリンパ節への転移の有無を判断し、無用なリンパ節廓清を避けることは、術後のQOLを改善するうえでも重要です。腫瘍が複数または3cmを超える、他の画像診断等でリンパ節転移が疑われる場合などでは、センチネルリンパ節生検が適応とならない場合もあります。

参考資料

- I.i. センチネルリンパ節生検の経験が豊富な外科チームがいて、患者がセンチネルリンパ節生検の候補として適切と思われる場合は、腋窩リンパ節病期診断よりもセンチネルリンパ節生検の方が望ましい方法となる(NCCN® ガイドライン2012)
- I.ii. 浸潤性乳がんにおいて、腋窩リンパ節郭清を実施した方が生存率が高まるなどを実証した確定的データは存在しないため、特に予後良好と思われる腫瘍の患者つまり、術後全身療法を選択しても影響されないと思われる患者、高齢者、あるいは深刻な併存疾患がある患者では、腋窩リンパ節郭清の実施は必ずしも必要ではない。(National Comprehensive Cancer Network: NCCN® ガイドライン2012)

指標18：早期乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検実施割合

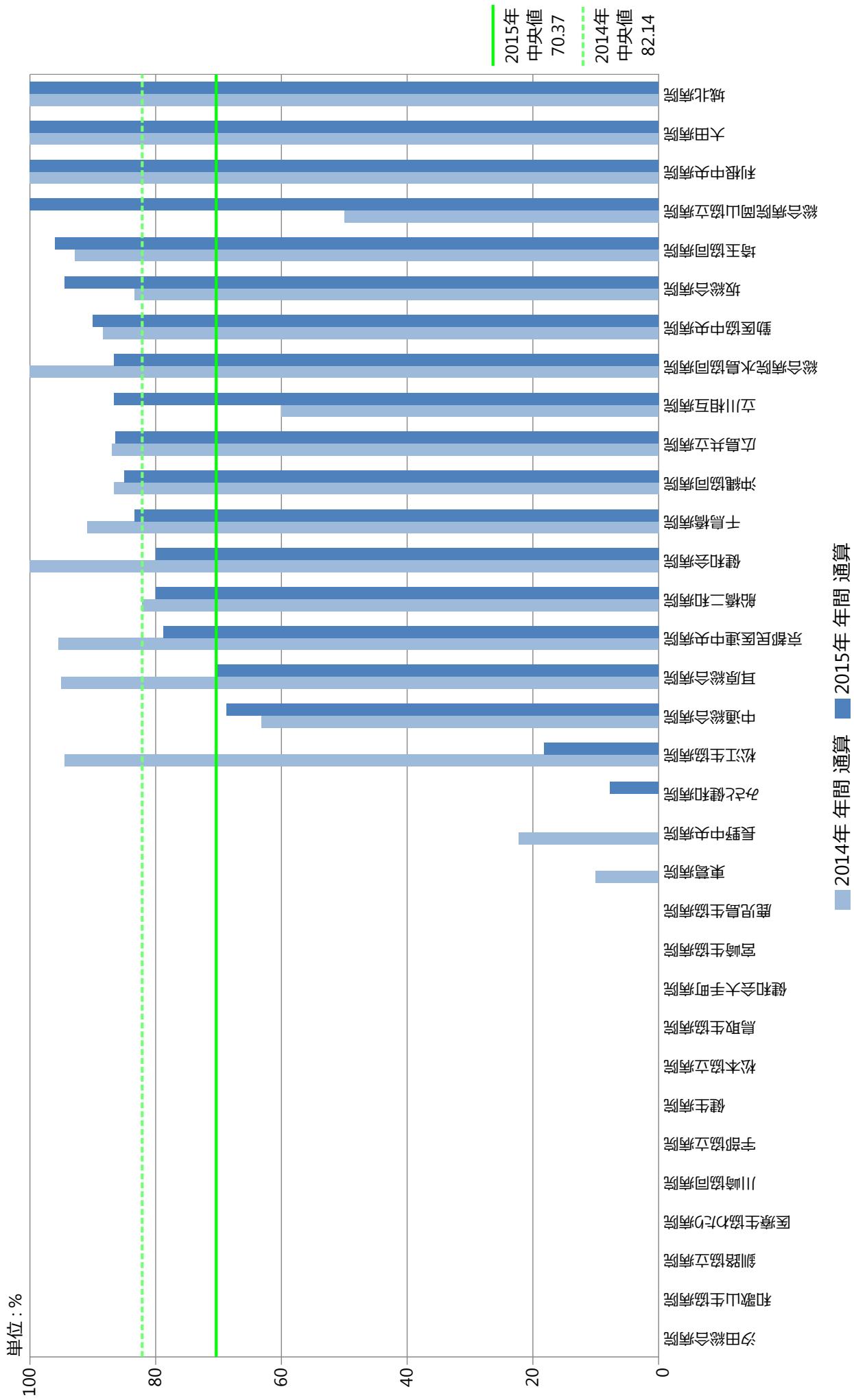
指標18分母：T1-2,N0M0の乳がん（初発）で入院して手術を施行した症例数

指標18分子：分母のうち、センチネルリンパ節生検が実施された症例数

指標18：早期乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検実施割合

	指標18分母		指標18分子		指標18	
	件 2014年 年間	件 2015年 年間	件 2014年 年間	件 2015年 年間	% 2014年 年間	% 2015年 年間
勤医協中央病院	43	50	38	45	88.37	90.00
釧路協立病院	—	4	—	0	—	0.00
あおもり協立病院	0	0	0	0	—	—
健生病院	10	6	0	0	0.00	0.00
坂総合病院	24	18	20	17	83.33	94.44
泉病院	0	0	0	0	—	—
中通総合病院	38	48	24	33	63.16	68.75
医療生協わたり病院	0	2	0	0	—	0.00
利根中央病院	2	9	2	9	100.00	100.00
埼玉協同病院	14	25	13	24	92.86	96.00
埼玉西協同病院	—	0	—	0	—	—
船橋二和病院	28	35	23	28	82.14	80.00
みさと健和病院	9	13	0	1	0.00	7.69
小豆沢病院	—	0	—	0	—	—
大田病院	3	5	3	5	100.00	100.00
東葛病院	10	10	1	0	10.00	0.00
立川相互病院	10	15	6	13	60.00	86.67
川崎協同病院	—	2	—	0	—	0.00
汐田総合病院	4	0	0	0	0.00	—
下越病院	0	0	0	0	—	—
城北病院	5	3	5	3	100.00	100.00
甲府共立病院	0	0	0	0	—	—
長野中央病院	9	4	2	0	22.22	0.00
健和会病院	1	5	1	4	100.00	80.00
諭訪共立病院	—	0	—	0	—	—
松本協立病院	7	5	0	0	0.00	0.00
みどり病院	0	0	0	0	—	—
京都民医連中央病院	22	33	21	26	95.45	78.79
耳原総合病院	20	27	19	19	95.00	70.37
尼崎医療生協病院	0	0	0	0	—	—
おかたに病院	0	0	0	0	—	—
和歌山生協病院	1	0	0	0	0.00	—
鳥取生協病院	2	4	0	0	0.00	0.00
松江生協病院	18	11	17	2	94.44	18.18
総合病院水島協同病院	10	15	10	13	100.00	86.67
玉島協同病院	—	0	—	0	—	—
総合病院岡山協立病院	2	6	1	6	50.00	100.00
広島共立病院	23	22	20	19	86.96	86.36
宇部協立病院	0	1	0	0	—	0.00
健和会大手町病院	6	5	0	0	0.00	0.00
千鳥橋病院	11	6	10	5	90.91	83.33
上戸町病院	0	0	0	0	—	—
宮崎生協病院	1	2	0	0	0.00	0.00
鹿児島生協病院	2	2	0	0	0.00	0.00
沖縄協同病院	15	20	13	17	86.67	85.00
中部協同病院	0	0	0	0	—	—
最大値	43.00	50.00	38.00	45.00	100.00	100.00
75%値	11.75	12.50	10.75	8.25	94.44	86.67
中央値	4.50	4.00	0.50	0.00	82.14	70.37
25%値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
最小値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

指標18：早期乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検実施割合



指標18：早期乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検実施割合

